

（様式1）

松 高 第 194 号

令和4年3月14日

高等学校教育課長 様

学番 20 県立村松高等学校長

魅力と活力ある学校づくり推進事業について、下記のとおり報告します。

記

村松高等学校

【テーマ】 地域と連携した進路実現を目指して
～地域と共に1UP～

【目標】

令和4年度、本校に併設される県立五泉特別支援学校村松分校との様々な交流を視野に、医療、看護、介護、福祉、教育等の分野への興味・関心を高め、地域の諸課題の考察や課題解決を目指したインターンシップなどを行いながら、未来の五泉・村松の地域社会を支える人材育成を目指す。

また、計画実施にあたっては、生徒のやる気を引き出し、生徒の夢を叶えさせる進路指導の実践によって、学校の活性化、魅力化につながる教育活動となるよう取り組む。

進路意識の啓発を行うことで、自らの課題を発見し解決に向けた取組ができるよう、総合的な探究の時間の充実を図る。

【取組の概要】

- ・ 全学年を対象とした介護や福祉、医療に関する研修の実施
- ・ 1学年を対象とした上級学校見学の実施
- ・ 2学年を対象としたインターンシップ事前指導の実施
- ・ 3学年を対象とした企業説明会の実施

【取組の成果】

- ・ 全学年を対象とした介護や福祉、医療に関する研修では、地域の介護・福祉・医療の状況を理解するとともに、介護・福祉・医療分野への関心や意識が高まった。
- ・ 1学年では上級学校見学を実施することで、早期に進路意識を啓発することができた。
- ・ 2学年ではインターンシップが実施できなかったことから、マナー講座や面接指導を一層充実させ、次年度における進路実現に向け意識が高まった。
- ・ 3学年では「五泉市合同企業説明会」が実施できなかったことから、各種進路ガイダンス等の充実を図ることで、一人一人の確実な進路実現に結びつけた。

取組の詳細

(1) 研修・講演会の実施

① 「介護や福祉に関する研修①」【1・2学年】

ア 目的

地域の介護や福祉の状況について話を聞き、介護や福祉への関心や意識を高める。

イ 実施状況

実施日 令和3年9月29日（水）6・7限

会場 本校第1体育館

講師 社会福祉法人みどり心育会理事長 野崎 和久氏

演題 「地域の福祉や介護の状況について学ぼう」

ウ 生徒の様子

本校に隣接する社会福祉法人より講師を招聘したことから、生徒は親近感を抱きながら、地域の介護や福祉について理解しようと真剣に話を聞いていた。

エ 成果と課題

地域の介護・福祉の現状や課題について、理解を深めたことが、生徒作成のレポートから判断できる。介護・福祉スタッフに求められる明るい挨拶や清潔な身だしなみなどは、あらゆる場面で大切にすべきことであり、学校においても常に意識しておくことが必要だと生徒が再認識する機会となった。



② 「介護や福祉に関する研修②」【1・2学年、3学年希望者】

ア 目的

地域の介護や福祉の状況及び具体的な介護・福祉の仕事について話を聞き、介護や福祉への関心や意識を高める。

イ 実施状況

実施日 令和3年11月24日（水）6・7限

会場 本校第1体育館

講師 社会福祉法人みどり心育会デイサービスセンターころつくしの家
管理者 入江 達也氏

演題 「介護ってどんな仕事？ -みどり心育会の取り組みを基にご紹介-」

ウ 生徒の様子

生徒は「介護・福祉に関する研修①」で介護・福祉の概要について理解しており、今回、介護に関する資格や各種介護サービス等の具体的な話から一層理解を深めようと真剣に聞いていた。

エ 成果と課題

介護・福祉の現状や課題について、より具体的に理解を深化させたことが、生徒作成のレポートから判断できる。介護とは利用者の「不快」を「快」にすることであり、利用者におもてなしの心を持って対応し、感謝されることが大きなやりがいであると知り、日ごろから相手のために自分から行動することが大切であることを生徒が再確認する機会となった。



【魅力と活力】実施報告（村松高校）

次年度は、コロナ禍で割愛した介護体験を交えた研修を組み入れていきたい。

③「介護や福祉に関する研修③」【1・2学年、3学年希望者、保護者】

ア 目的

地域の保育の状況及び具体的な保育の仕事について話を聞き、保育への関心や意識を高める。

イ 実施状況

実施日 令和3年12月7日（火）5・6限

会場 本校第1体育館

講師 社会福祉法人みどり心育会ひまわりこども園 園長 南雲 正子 氏

演題 「未来ある子ども達に携わる専門職 保育士について」

ウ 生徒の様子

地域のこども園より講師を招聘したことから、講師に保育を受けた生徒も少なからずおり、和やかな雰囲気の中で保育について理解しようと真剣に話を聞いていた。



エ 成果と課題

保育の現状や課題及び具体的な保育士の仕事について理解を深めたことが、生徒作成のレポートから判断できる。保育士は、人生を歩む上で心の基礎を培う責任ある仕事であり、元気な挨拶や礼儀が大切であることを知り、日ごろの学校生活においても挨拶を大切すべきであると生徒が再確認する機会となった。

次年度は、コロナ禍で割愛した保育実習を交えた研修を組み入れていきたい。

④「医療に関する研修」【1・2学年】

ア 目的

地元の医師会と連携した、現在の地域医療や、医療に従事する様々な医療スタッフに関する状況を学び、医療への関心や意識を高める。

イ 実施状況

実施日 令和4年2月16日（水）6・7限

会場 本校第1体育館

講師 国際メディカル専門学校 看護学科副校長 内藤 綾子 氏

演題 「人生100年時代を見据えた看護の仕事とやりがい」

ウ 生徒の様子

今ある仕事の多くはAIに奪われると言われているが、人生100年時代、AI時代だからこそ、看護師は社会から求められる仕事であると聞き、看護師の仕事とやりがいについて理解しようと真剣に話を聞いていた。



エ 成果と課題

医療の現状や課題及び具体的な看護師の仕事について理解を深めたことが、生徒作成のレポートから判断できる。生徒は、看護師は患者の悩みを一緒に考えて最適解を見つける仕事であるが、仕事の上

【魅力と活力】実施報告（村松高校）

で多くの人に出会い、多くを学んだと聞き、日ごろからコミュニケーション能力を磨き、相手の立場に立って行動する必要があると生徒が再確認する機会となった。

⑤ 「マナー講習会」（インターンシップ事前学習）【2学年】

ア 目的

夏季休業中に行うインターンシップに向けて、マナー全般の重要性を理解させる。

イ 実施状況

実施日 令和3年7月14日（水）6・7限

会場 本校会議室

講師 新潟ビジネス専門学校 教務部次長 就職相談室室長 平馬 みどり 氏

ウ 生徒の様子

本年度はインターンシップが中止となったが、就職活動への意識を高めることを目的に実施した。全員が緊張感をもって講習に臨んでいた。自分の意思を十分に伝えるためには、先ず見た目・身だしなみが大切であること、言葉遣いが大切であることを認識し、普段の自分自身の姿を見直すきっかけとなったようである。



エ 成果と課題

理屈ではわかっているけれども日常生活の中で、「礼儀、身だしなみ」を「普通」にしていくには時間がかかると思われる。今後は、挨拶は勿論、普段の身だしなみについても自分自身で意識していくことができるような指導を考えていく必要がある。

⑥ 「面接対策講演会」【2学年】

ア 目的

次年度の進学及び就職等の面接試験を見据え、その重要性を理解するとともに、基本的な面接マナーを習得する。

イ 実施状況

実施日 令和4年1月19日（水）6・7限

会場 本校会議室

講師 新潟ビジネス専門学校 教務部次長 就職相談室室長 平馬 みどり 氏

ウ 生徒の様子

具体的な事例を挙げて細かく説明していただき、生徒は熱心に聴いていた。

内容が分かりやすく、講師の先生も生徒に質問するなど、生徒は緊張感をもって臨めた様子であった。

エ 成果と課題

進学希望・就職希望にかかわらず、面接に向けた対策は重要であり、基本的な面接マナーを学ぶことから始めるが、習得・実践できるよう日々の生活を見直すことが併せて必要である。3学年に向けて、生徒が自己を見つめ直すよい機会となった。



【魅力と活力】実施報告（村松高校）

(2) 上級学校の見学【1学年】

ア 目的

1年生の早い段階から、大学・短大・専門学校等の上級学校を見学することにより、進路実現のために、進学という選択肢があることを意識させる。

イ 実施状況

実施日 令和3年8月25日（水）

会場 新潟市内大学・短大・専門学校

ウ 生徒の様子

生徒は見学先の学校で説明を熱心に聴くとともに、講師に質問をするなど、充実感をもって臨めた様子である。



エ 成果と課題

近年、本校は大学・短大・専門学校等への進学希望者が減少傾向にあるが、希望する進路実現のために、進学も視野に入れることにより、日ごろの学習活動を含めた学校生活全般を生き生きと過ごしていくためのよい機会となった。

(3) 「五泉市合同企業説明会」【3学年・2学年】 ※令和3年度は中止

例年6月に五泉商工会議所や五泉高等学校との共催で実施し、生徒にとって、地元企業を知るまたとない機会であったが、新型コロナウイルス感染症対策の観点から昨年度に引き続き中止とした。新潟市秋葉区、新発田市で行われた合同企業説明会には参加したが、地元希望者の多い本校にとっては貴重な機会であるので、来年度は状況を見て実施したい。

(4) 取組の成果

- 1学年では講演会や生徒理解調査を実施することで、早期の進路意識の啓発ができた。
- 2学年ではインターンシップが実施できなかったことを踏まえ、マナー講習や面接指導を一層充実させた。
- 3学年では企業等説明会が実施できなかったことを踏まえ、各種進路ガイダンスの充実を図ることで、一人一人の確実な進路実現に結びつけた。

(5) 総合所見

○ 進路希望の決定状況

右の表は、例年2月に実施している「学校生活等に関する意識調査」（1、2学年対象）での、「高校卒業後の進路希望は決まっていますか」という問いに対する回答のうち、「はっきりと

	平成30	令和元	令和2	令和3
1学年	68.0	61.0	78.0	67.6
2学年	70.3	70.8	63.6	75.5
総計	69.3	64.8	69.8	72.4

決まっている」及び「漠然と決まっている」と回答した割合を示している。今年度は総計が72.4%となり、昨年比で2.6ポイント上昇した。また、今年度新たに加わった「自分の生まれ育った地域に将来貢献したいと思いますか」という問いに対する回答のうち、「そう思う」及び「どちらかというと思う」と回答した割合は総計で86.2%であった。今年度、新規に地元の社会福祉法人による介護・福祉等に関する研修を実施したことを踏まえ、未来の五泉・村松地域

【魅力と活力】実施報告（村松高校）

の社会に貢献しようとする意欲がさらに高まるような仕掛けを考え、地元企業への就職につなげたい。

○ 来年度に向けて

新型コロナウイルス感染症対策のため、インターンシップ等の地域との連携事業が計画どおり実施できなかったことから、校内活動を工夫し充実を図ることとした。特に五泉市合同企業説明会を中止せざるを得ず、3学年の就職活動への影響が心配されたが、教職員の熱意と工夫で乗り切り、進路希望達成率 100%を実現した。来年度の3学年も今年度以上の成果が上がるよう、内容の充実を図りたい。

(6) 今後の取組予定

新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されるが、次年度はこれまでの取り組みに加え、本校生徒の進路希望等を踏まえて、新たな分野で講演会・研修等の実施を検討している。

- ・高校生活についての講演会（1学年） ・生徒理解調査（全学年）
- ・企業説明会（3学年） ・上級学校見学（1学年） ・インターンシップ事前指導（2学年）
- ・地元企業で活躍している人材を講師とした講演会（全学年）
- ・介護・福祉・医療・看護分野でのインターンシップの充実（2学年）
- ・情報分野についての講演会・研修（全学年）